北ノ川小学校便り

教育目標　「知徳一体」

～言語能力を育て、自分の頭とこころで考えて行動できる児童の育成～

第２号　令和２年５月７日　　北ノ川小学校発行

ようやく学校が再開しました。

新年度がスタートしたのもつかの間、４月に出された緊急事態宣言を受け、新型コロナウィルス感染症拡大防止のために、またまた臨時休校となりました。今も国中みんなで、８割くらいの人との接触をなくそうと、みんながお互いのために出かけたい気持ちを我慢して不要不急の外出を避けています。テレビなどでは、東京や大阪といった いつも多くの人があふれている大都市でさえ、人の姿がほとんど見えない光景が、映し出されていました。そのおかげか、ここしばらくは、少しずつ新しい感染者は減ってきているようです。高知県でも、4/30 以来１週間、新たな感染者は０が続いています。

先日お知らせしましたように、学校再開に当たっては、３ 密を避け、窓を開け空気の入れ替えに留意し、手洗いや手指の消毒など励行し、扉の取っ手などみんながさわる部分は毎日消毒するなど感染予防対策を行いながら再開しました。登校してきた子どもたちは、元気な声を響かせ、明るい笑顔を見せてくれました。また久しぶりの給食には、一口食べるや否や、「おいしい～。」今日は、「子どもの日」にちなんで、五目チラシに柏餅がついていました。

コロナ関連のネットニュースなどを見ていると、耳や目を疑うような残念なことが起こっています。例えば、マスクの品切れが続く薬局で、店員さんに向かって文句を言ったり、県外ナンバーの車に嫌がらせをしたり。病院に勤めている医療関係者や長距離運送をしているトラックの運転手さんの家族を排斥するなどです。

大阪で暮らしている娘が４月末に熱を出していると連絡がありました。勤め先は ４ 月初めよりずっと休業しているのですが、この非常事態宣言が出されている中、感染者の多く出ている大阪市から自宅に呼び戻すこともできず、看病にも行けず、とりあえず、市販薬や食料品を買い集め、宅急便で送り、無事を祈ることしかできませんでした。

病院で診察してもらえたらしく、翌日には熱も下がり、元気になったとの連絡がありましたが、もし仮に感染していたら、回復しない限り、もう会うこともできないかもしれない。このような状況の中で、荷物を運んでくださっている方や病院の関係者の方には、感謝の言葉もありません。そう考えると、買い物にいく近所のコンビニや食料品店の方たちも、感染のリスクの中、私たちのために毎日店頭に立ってくださっているのだなあと感謝するとともに、教育者として子どもたちには、他人の立場に立って考えられる豊かな心を育てたい。こういう未知の体験の時にこそ、不安や恐怖に支配されるのではなく、自分とは異なる立場に思いをはせ、理解し支え合える、そういう人づくりをしなければならないと改めて責任の重さを感じています。

また、春の陽気の中、いろいろな草花が育ち、生き物が元気に動き回っています。玄関先の花々には、蜂が蜜を集めに来ていましたが、それを興味深くじっと眺めていた晄良君と未流君が、「先生、クマ蜂のオスには針がないけ、捕まえてみたい。」とクマ蜂のオスには針がないと教えてくれました。私は知らなかったので、驚いていると、「ユーチューブでやってた。結構いろんないいのがあるがで。」と教えてくれました。

☆手作りマスクをありがとうございます。

５/１　打井川の本山加代さんから、手作りマスクを寄付していただきました。コロナ感染予防のため、仕事がお休みになって時間ができたからと、子どもたち一人一人に、マスクを作ってくださり、寄付していただきました。マスクが不足している中、手作りマスクを作ろうにも、布もゴムひもも不足して入手しにくい状況という話も聞いていますが、まるで店頭に並んでいるようなかわいらしいマスクです。

今日、各学級で子どもたちに配らせていただきました。本当にありがとうございます。

☆やまももに掲載されます。

高知県こども詩集やまもも　第４４集「月ようびがたのしみ」に次の３名の詩が選ばれました。おめでとう。

國澤　杏菜さん（２年生）　　佐竹　未流さん（６年生）　　宮脇　香桜さん（中学１年生）

また、**倉島　翔吾さん（２年生）**のカットも掲載されます。おめでとう。
昨年応募しているため、応募時の学年での掲載となります。

☆シロツメクサのかんむり。

先日、１年生の水間あかりさんがシロツメクサのかんむりを作っていました。支援員の笹岡さんに教えてもらい一緒に作ったそうです。とても上手にできていました。

他にどんな遊びがあるのかなあって聞くと、さっそく図書室で調べて、草相撲などあると教えてくれました。小梢さんと２人でたんぽぽの茎で水車も作っていました。